

計画の名称	災害に強い道路整備
計画の期間	平成21年度～平成25年度(5年間)
計画の目標	

災害に強い道路ネットワークの整備を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

道路の法面や老朽化した橋梁などの危険箇所の対策を行うことにより、災害に強い道路ネットワークの整備を行い、緊急輸送道路や安全に通行できる道路の確保を図る。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
道路防災総点検により、豪雨・豪雪等、落石・崩壊の対策が必要とされた緊急輸送道路区間の箇所、耐震補強が必要な橋梁及び通行規制区間等の要対策箇所の対策率。 橋梁点検により、安全な通行を確保するために対策が必要とされた箇所の対策率。	(H21当初)	(H23末)	(H25末)	
$(安全な道路の確保率) = \Sigma(\text{対策箇所数}) / 29$ （緊急輸送道路区間内の道路防災総点検（豪雨・豪雪等、落石・崩壊）及び通行規制区間等の要対策箇所数）	0%	50%	100%	
$(安全な道路の確保率) = \Sigma(\text{対策箇所数}) / 66$ （要対策箇所数）	0%	50%	100%	

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H21	144 百万円	●基幹事業
	H22	215 百万円	
H23	177 百万円		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(国)433号(葛原) 落石防護柵(L=80m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)佐伯5区169号線(多田) 落石防護柵の設置を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> </ul>
H24	423 百万円		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主)五日市筒賀線(豆迫橋ほか2橋) 橋脚補強(3橋)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(主)広島豊平線(広島新交通1号線) 落橋防止装置(8橋)の設置を計画し、落橋防止装置(8橋)を設置した。</li> </ul>
H25	715 百万円		
合計	1,674 百万円		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●その他関連する事業</li> <li>・(国)433号(大古谷拡幅) 道路改良(L=860.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(国)191号(小河内) 法面落石防止対策(L=430.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(国)2号ほか 橋梁の長寿命化(4橋)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(主)広島三次線ほか 橋梁の長寿命化(14橋)を計画し、橋梁の長寿命化(11橋)の対策を実施した。</li> <li>・(市)中3区中広宇品線ほか 橋梁の長寿命化(48橋)を計画し、橋梁の長寿命化(27橋)の対策を実施した。</li> <li>・(国)488号(田布) 道路改良(L=250.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(国)191号(最高寺橋) 橋梁の架替(最高寺橋)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(主)翠町仁保線ほか 橋梁補修(4橋)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)安佐南3区391号線ほか 橋梁補修(2橋)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(一)下佐東線 法面落石防止柵(L=46.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)安佐北4区36号線 法面落石防止柵(L=30.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(主)広島豊平線 法面落石防止柵(L=78.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)佐伯3区57号線 落橋防止装置(三宅横断橋)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)東4区201号線 法面崩落防止対策を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> <li>・(一)志和口向原線 落石防護柵の設置を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> <li>・(市)安佐北2区763号線 法面落石防止柵(L=15.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)安芸1区284号線 法面落石防止柵(L=49.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(国)433号ほか 路面性状調査の結果に基づき、県・市道の舗装修繕を優先したため、実施しなかった。</li> <li>・(主)広島三次線ほか 舗装修繕を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(一)瀬野呉線ほか 舗装修繕を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)中2区中島吉島線ほか 舗装修繕を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・除雪車の更新 除雪車の更新を計画し、計画どおり実施した。</li> </ul>

- ・(国)191号ほか  
路面陥没調査を計画し、計画どおり実施した。
- ・(主)広島三次線ほか  
路面陥没調査を計画し、計画どおり実施した。
- ・(市)中1区比治山庚午線ほか  
路面陥没調査を計画し、計画どおり実施した。
- ・(国)433号ほか  
法面・盛土等の点検を計画し、計画どおり実施した。
- ・(一)瀬野呉線ほか  
法面・盛土等の点検を計画し、計画どおり実施した。
- ・(市)安佐南2区180号線  
法面・盛土等の点検を計画し、計画どおり実施した。
- ・(国)433号ほか  
路面性状調査を計画し、計画どおり実施した。
- ・(一)瀬野呉線ほか  
路面性状調査を計画し、計画どおり実施した。
- ・(市)中2区中島吉島線ほか  
路面性状調査を計画し、計画どおり実施した。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の  
効果の発現状況

- 基幹事業
  - ・(国)433号(雲出)  
バイパス整備を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(一)宇津可部線  
法面崩落防止対策を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(国)433号(葛原)  
法面落石防止対策を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(主)五日市筒賀線(豆迫橋ほか2橋)  
橋脚補強を実施し、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(主)広島豊平線(広島新交通1号線)  
落橋防止装置の設置を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
- その他関連する事業
  - ・(国)2号ほか  
橋梁の長寿命化を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(主)広島三次線ほか  
橋梁の長寿命化を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)中3区中広宇品線ほか  
橋梁の長寿命化を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(主)翠町仁保線ほか  
橋梁補修を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)安佐南3区391号線ほか  
橋梁補修を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(一)下佐東線  
法面落石防止対策を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)安佐北4区36号線  
法面落石防止対策を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(主)広島豊平線  
法面落石防止対策を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)佐伯3区57号線  
落橋防止装置の設置を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)安佐北2区763号線  
法面落石防止対策を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)安芸1区284号線  
法面落石防止対策を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(主)広島三次線ほか  
舗装修繕を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(一)瀬野呉線ほか  
舗装修繕を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)中2区中島吉島線ほか  
舗装修繕を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・除雪車の更新  
除雪車の更新を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(国)191号ほか  
路面陥没調査を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(主)広島三次線ほか  
路面陥没調査を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)中1区比治山庚午線ほか  
路面陥没調査を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(国)433号ほか  
法面・盛土等の点検を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(一)瀬野呉線ほか  
法面・盛土等の点検を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)安佐南2区180号線ほか  
法面・盛土等の点検を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(国)433号ほか  
路面性状調査を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(一)瀬野呉線ほか  
路面性状調査を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。
  - ・(市)中2区中島吉島線ほか  
路面性状調査を行い、安全に通行できる道路の確保を図った。

目標値の実現状況	指標： (対策箇所数) / (緊急輸送道路区間内の道路防災総点検及び通行規制区間等の要対策箇所数)			成果目標の達成状況：非達成 地権者との用地交渉の難航等により、事業進捗の遅れまたは着手できなかったため。
	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	目標値と実績値に差が出た要因	
	50%	100%		
	中間実績値 (H23末)	最終実績値 (H25末)	目標値と実績値に差が出た要因	
	34%	66%		
	指標： (対策箇所数) / (要対策箇所数)			
中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	目標値と実績値に差が出た要因		
50%	100%			
中間実績値 (H23末)	最終実績値 (H25末)	目標値と実績値に差が出た要因		
30%	64%			
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況				
<b>3. 今後の方針</b>				
未整備の要素事業については、防災・安全社会資本整備交付金事業へ移行し、今後も引き続き要対策箇所の方策を図り、災害に強い道路ネットワークの整備に取り組む。				
<b>4. その他特記事項</b>				